

道央東芝 CT ユーザー会レポート

東芝メディカルシステムズ株式会社

9/10（土）、TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前にて、道央東芝 CT ユーザー会を開催しました。

遠友 ser 会についてより広く知っていただくために、これまで函館、旭川、空知地区でユーザー会を開催しておりまして、今回は道央圏地区（札幌支店管轄）ユーザーにお声掛けさせていただき、大雨の降りしきる中ではありましたが 65 名と多くの皆様にご参加いただきました。



最初に、北海道大学病院 笹木先生に遠友 ser 会の活動について説明いただきました。

続いての「ここが私の職場です。」（ユーザー発表）では、過去に画論で入賞経験のある 3 名の先生よりご講演いただきました。

■Presenter1.「東芝ユーザーだけにお話しする当院の CT 検査の方法」

NTT 東日本札幌病院 佃 幸一郎先生

独自に作成したシャント用の固定具や靴のまま寝台に寝られるマットを用意したり、造影検査を行う患者さん向けの副作用カードを事前に作成したりするなど、検査の効率・安全性向上のための様々なツールをご紹介いただきました。



■Presenter2. 「肺動静脈分離 3DCT 画像作成について」

札幌南三条病院 平野 真理先生

過去画論で入賞された Dynamic-Helical 撮影による肺動静脈分離の撮影方法や 3D 作成方法をご紹介いただき、また最近導入した ZIOSTATION を用いることで被ばくや時間分解能を考慮した 1 相撮影での 3D 作成方法などを発表されました。



■Presenter3. 「Aquilion PRIME Beyond Edition の心臓 CT」

北光記念病院 三浦 祐二先生

過去画論で入賞された低被ばく・低造影剤量での心臓症例や、PRIME での冠動脈サブトラクションの画像をご提示いただき、PRIME でも ONE のような検査が行えることをお話いただきました。



アプリアワーではメルマガでもご好評いただいているワンポイントアドバイスのような形式で発表を行いました。

日頃の検査の悩みや疑問点をぶつける、「先生！これってどうやるの？」（ディスカッション）では、Oblique MPR の活用法や息止めができない場合の撮影法などを話題にディスカッションが行われました。



特別講演では、藤田保健衛生大学病院の井田義宏先生をお迎えし、CT撮影のスキルやMSCTデスク・ADCTデスクの構想についてお話いただきました。



■ 「X線 CT撮影のスキルと MDCT デスクと
ADCT デスクの目指すもの」
藤田保健衛生大学病院 井田 義宏先生

GALACTIC ガイドラインや DRL を設定されるまでの経緯や、X線 CT 認定技師のあり方、MSCT・ADCT デスク構想、従来の ONE と GENESIS の画質の違いなど紹介いただきました。

今回のユーザー会で集計したアンケートではお客様の満足度は非常に高く、9割以上の方に次回もまた参加したいと感じていただきました。またメルマガ非会員の皆様にも、多数登録したいとの声をいただきました。

今回いただいたアンケートを参考にさせていただき、今後もより良い会になるように努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。